



港南小学校 だより

12月号

二十四節気・七十二候

<12月の二十四節気>

- ・12月7日 大雪
天地閉塞雪降る
- ・12月22日 冬至
冬の最中日南下の極

<12月の七十二候>

- ・閉塞成冬
そらさむくふゆとなる
→天地の気が塞がって冬となる。
- ・熊蟄穴
くまあなにこもる
→熊が冬眠のために穴に隠れる。
- ・鮭魚群
さけのうおむらがる
→鮭が群がり川を上る。
- ・乃東生
なつかれくさしょうず
→夏枯草が芽を出す。
- ・麋角解
きわしかのつのおつ
→大鹿が角を落とす。
- ・雪下出麦
ゆきわたりでむぎのびる
→雪の下で麦が芽を出す。

校長 船木 亮作

寒さも一段と厳しくなり、冬の到来がすぐそこに近付いてきました。早いもので、今年も一か月を残すのみとなりました。

新型コロナウイルスの感染者も減少傾向にあり、少しずつ日常を取り戻している状況です。先日は、学校公開及び引き渡し訓練にお越しいただきありがとうございました。両方とも分散による実施でしたが、保護者の皆様、こちらがお示したルールをきちんと守って来校いただいた結果、混乱もなく実施できました。皆様の協力に感謝いたします。その他にも、げんきアップタイムやフレンドリータイムなどこれまで実施できなかったものを三密にならないように工夫しながら実施できたことも大きな一歩でした。さらに、幼稚園・保育園との交流、保護者・企業による出前授業なども数多く実施することが出来ました。特に、「JICA会長の中嶋信行様には、五、六年生に向けて港南の防災についてお話をしていたいただき、子供たちは自分事として熱心に聴いていたのが印象的でした。その後、担任が学校公開の際に防災の授業を行ったところ、子供たちの防災に対する意識が変わってきたように感じました。

先日、私たちの研修会で次のようなお話をいただき、考えさせられました。それは、「体験活動」の大切さです。その中で、「自然の中での遊びや自然観察、地域の中での社会体験や家庭でのお手伝いなど子供の頃の様々な体験が人生の基盤となり、大人になった時の意欲やコミュニケーション力の差になって表れる」というお話です。文部科学白書等においても自然体験等が多い児童は「自己肯定感や道徳観・正義感が高い傾向にある」という結果を示しています。また、子供の頃の体験が多

い子は「人間関係能力」も高く、「自尊感情や外向性に良い影響を与えている」とデータをもとに述べられています。さらに、そのような子供は、高校生になって「自尊感情や外向性」「精神的な回復力」といった項目の得点が高くなる傾向にあるとも述べられています。本校の中にも、地域のため、学校のために貢献しようとする意識が芽生えている子供たちがいます。先月号でもお知らせした通り、「しなハロ」の一つのプロジェクトである「しなピカ活動」に五年生の子供たちが主体的に関わっていました。ある子供は、外国の方に対して一生懸命英語でこの取り組みを説明していました。その他にも「ペーパーレス」について考えている子供たちは、校長室に取材に訪れ、紙ごみを減らすための取組について話してくれました。すぐにも実行できそうな取組についての提案もしてくれました。

このように、自ら考え、地域や学校を少しでも良いものにしていくとすると子供たちはきっと将来も自己肯定感や道徳性が備わった大人に成長していくのだと思います。そんな取組がさらに広がり、関わる子供や大人も多くなってくるときこの街は素晴らしい街になっていくのではないのでしょうか。

さて、我が国では、毎年十二月十日（四日・十日）を最終日とする一週間を人権週間と定めています。「人権」とは、「人は誰もがその人らしく生きていくことができる権利」のことです。毎年、色々な場で人権、いじめについて子供たちに話をしてきました。顔立ち、頭髪、体型、肌の色、あだ名、障害があることなどで相手が嫌がること言ったり仲間はずれにしたりしてはいけません。を今後も繰り返し話していきます。

三つの車

冬休み前は、子供たちに「三つの車に気を付けよう」という話をします。

●救急車のお世話にならない

横断歩道の渡り方や、自転車利用時のヘルメットの着用について確認します。



●パトカーのお世話にならない

防犯ブザーの携帯やお金の使い方や出掛けるときのきまり、SNSの利用方法などを確認します。



●消防車のお世話にならない

火遊びの禁止や火の後始末を確認します。



三学期、すべての子供たちが元気に登校することを心より願っています。生活指導に関しても様々な協力・ご支援をいただき、ありがとうございます。令和四年もよろしくお願ひいたします。

【生活指導主幹 小清水 孝】



東京都港区港南 4-3-28
TEL 03-3474-1501・FAX 03-3474-1500



1月の主な行事予定

- 11日(火) 始業式、土曜時程、4時間授業
 12日(水) 給食始、書き初め会(1.2.6年)
 【下校時刻変更】基礎なし、4時間授業
 13日(木) 書き初め会(3年.5年.わかば5.6年)
 セーフティタイム
 14日(金) 書き初め会(4年.5年)
 17日(月) 委員会活動
 18日(火) 薬物乱用防止教室(6年)
 19日(水) 【下校時刻変更】 4時間授業
 21日(金) 学校公開Ⅲ①、書き初め展始
 わくわく教室公開
 22日(土) 学校公開Ⅲ②、道徳授業地区公開講座
 英語検定(午後)
 24日(月) ユニセフ週間始、クラブ活動
 幼稚園学校探検(5年)、フットサル教室(わかば)
 25日(火) フットサル教室(わかば)
 26日(水) フットサル教室(わかば)
 書き初め展終



副校長より

「叱る」と「怒る」の違いは、「叱る」には「相手の成長を促す」という教育的な目的があります。成功から学ぶよりも、失敗から学ぶ方が簡単です。悪いことをしたときに、「他の人もやっています」とか「自分もやられたからやり返しただけです」など、叱られないための言い訳を聞くことがあります。しかし、叱られるようなことをしたときには、きちんと叱られておいた方が得です。言い訳をしなかつたこと、同じ過ちを繰り返すことがありません。

叱られるうちが花

繰り返すことがあるかもしれませんが、叱る方は時間と労力をかけて叱ります。愛がなければ叱れません。悪いことをやっただけの子に「もうこんなことをしないでほしい」といって「よい人になってもういい」という思いで叱っています。「罪を憎んで人を憎まず」やっしまったことをきちんと反省し、次に同じことが起きたらどうするかを一緒に考えていきたいと思っています。

(副校長

久道 泰司
平 裕子)

12月の行事予定

1日	水	【下校時刻変更】基礎・清掃なし
2日	木	セーフティタイム
3日	金	
4日	土	土曜授業日【下校時刻変更】 通常時程(1~3年5時間授業、4~6年6時間授業)給食あり Winter Festa(保護者鑑賞日)
5日	日	
6日	月	振替休業日、こどもサミット(6年代表児童)
7日	火	全校放送 委員会活動 色覚検査始(4年)
8日	水	避難訓練、校内研究授業(わかば)
9日	木	【下校時刻変更】基礎なし 個人面談① 歯科検診(2.3年)、校外学習(5年) わくわく教室個人面談始
10日	金	【下校時刻変更】基礎なし 個人面談② フレンドリータイム
11日	土	
12日	日	
13日	月	全校放送 クラブ活動
14日	火	【下校時刻変更】基礎なし 個人面談③ 移動教室①(6-1.6-2)始
15日	水	移動教室①(6-1.6-2)終、移動教室②(6-3.6-4)始
16日	木	【下校時刻変更】基礎なし 個人面談④ 歯科検診(1.2年)、移動教室②(6-3.6-4)終 移動教室③(6-5.6-6)始
17日	金	【下校時刻変更】基礎なし 個人面談⑤ 移動教室③(6-5.6-6)終 移動教室(わかば4~6年)始
18日	土	移動教室(わかば4~6年)終
19日	日	
20日	月	【下校時刻変更】基礎なし 個人面談⑥ 振替休業日(わかば4~6年)
21日	火	【下校時刻変更】基礎なし 個人面談⑦
22日	水	
23日	木	【下校時刻変更】基礎なし 個人面談⑧ わくわく教室個人面談終、給食終
24日	金	終業式、土曜時程 4時間授業
25日	土	クリーン作戦(10時~)

☆12月25日(土) ~ 1月10日(月) 冬季休業日☆

表彰

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童(人)	27	216	218	223	224	233	221	1362

(11月30日現在)

スポーツフェスタ



入れ替え制での参観にご協力ありがとうございました。十月二十日（水）と二十三日（土）にスポーツフェスタを行いました。わかば学級も各学年に分かれて活動しました。

一年生は、学年目標の「パワーゼンかい〇〇%」をテーマに表現演技を行いました。難しい振り付けや隊形移動もあり、苦戦する姿もありましたが、それでも熱心に練習する姿が印象的でした。学年練習では、振り付けや隊形移動の練習はもちろん、一年生全員で力を合わせ、全力で取り組むことも頑張りました。

本番では、今までの練習の成果を発揮し、元氣一杯に踊る姿を他学年の児童や保護者の方に披露することができました。今回のスポーツフェスタを通して、全員が大きく成長したと感じております。今後も様々な場面で成長していけるよう、見守り、指導していきます。

（一年三組担任 福沢 梨佐）

二年生の表現運動は、世界で活躍するアーティスト、BTSの「Permission to Dance」です。この曲は九月に開かれた国連総会でも披露され、話題になりました。歌詞に「ダンスをするのに許可なんていらない」という意味が込められています。途中で決めポーズを五回するところがあるのですが、全員がこの曲に合わせて思い通りにポーズをとることができました。個性と笑顔が輝く素晴らしいダンスでした。

講師の方をお招きして、学年全体にダンスの指導をしていただきました。そのおかげで子供たちの動きが大きくなったり、キレが出たりしました。多くの方から「二年生のダンスはかっこいいね」と褒めていただきました。子供たちの頑張りを支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

（二年三組担任 松川 ゆり）

三年生は、初めて民舞に挑戦し、「花笠音頭」のわらび座のものとロック調の二種類のリズムに合わせて踊りました。学年全員で気持ちを一つにして踊ることを目標に、お手本の動画を見ながら休み時間に練習するなど、一生懸命に取り組みました。

本番では、練習の成果を発揮し、笑顔で楽しく踊り、キレのよい笠回しを全校児童や保護者の皆様に披露することができました。「鈴の音が揃っていきい」と揃うことのよさを感じた子どもたちでした。気持ちを一つにして何かを成し遂げた達成感を今後の学校生活に生かしていけるように指導していきます。

（三年二組担任 風見 友哉）

四年生は、「ロック」と「サンバ」の二種類のリズムでダンスを踊りました。今年度は感染症対策のため、学年揃って練習する時間が例年に比べ少なかったです。そのため、タブレットを活用してteamsに手本の動画を入れることで、一人一人が自分のペースに合わせて練習できるように指導方法を工夫しました。初めは速いリズムと難しいステップに「難しそう」と呟っていた子たちも本番では自信をもって踊ることができました。

スポーツフェスタで学年目標である「なかよし・元氣・やさしい」の心が育まれたと思います。今回の経験を生かして、今後の学校生活も過ごしていけるよう指導していきます。

（四年六組担任 中丸 喬介）

五年生は北海道の民謡をロック調にアレンジした「南中ソーラン」に挑戦しました。腰を落として低い姿勢で踊るのが特徴です。そのため、毎回の練習は体力的にとってもきつかったと思いますが、一人一人が真剣に取り組む姿から、高学年らしい成長を感じました。

スポーツフェスタ当日、子供たちはとても真剣なまなざしで、「今日という日を成功させたい」と強い気持ちをもって表現に取り組み、全員の動きがぴったり揃い、学年で決めた「一心同体」の目標を達成することが出来ました。とても立派な姿を保護者の方々や他学年の児童に見ていただけたのではないかと思います。

このスポーツフェスタでの経験を次の行事に生かせるように、引き続き指導していきます。

（五年三組担任 土屋 香澄）

六年生は学年目標の「つなぐ」をテーマに表現運動を行いました。一人技を全員で揃えたり、大人数技を仲間と協力しながら表現したりすることができました。技と技の間の姿勢なども意識し、最髙学年として成長した姿を下学年や保護者の方に見てもらったことができたと思います。

スポーツフェスタ後には、「友達と協力することの楽しさが分かった」や「友達と一つのものを作り上げることの喜びを味わうことができた」などの振り返りが見られました。今後の行事でも、最髙学年らしい立派な姿が見せられるように、引き続き指導を続けていきます。

（六年五組担任 山崎 愛未）

委員会紹介

放送委員会



今年度の放送委員会では、主にお昼の放送を流す活動をしています。全校児童が落ち着いた雰囲気の中で給食を食べることができるよう、緊張感をもって取り組んでいます。

お昼の放送では、曲を流したり、自分たちで考えたクイズを出したりしています。また、音楽委員会やボランティア委員会など、他の委員会と協力して放送をしています。学年や、昨年度の経験を問わず、委員会同士が連携を取りながら仕事に取り組む姿はとても素晴らしいです。

今後も、聴いてくれる人が楽しめる放送を目指して、活動していきます。

(放送委員会担当 栗田 純)

代表委員会



代表委員会では、四年生から六年生までの各学級から男女一名ずつ選出し、活動しています。

一学期には、一年生を迎える会の進行や今年度からベルマークの回収、集計を行いました。今学期は、スポーツフェスタのスローガンを考え全校児童に発表しました。このように全校全体に関わる行事等での準備や計画、運営を行っています。その他、三旗を代表委員が毎朝掲揚し、放課後に降納する仕事も担っています。大きな行事に関わるため一人一人が責任をもって活動することはもちろん、学年をまたぎ協力して活動に取り組んでいます。

今後も、学校の代表として活躍できるように指導していきます。

(代表委員会担当 中野 沙織)

図書委員会



図書委員会では、港南小学校の子どもたちが気持ちよく本が読めるよう、活動をしています。主な活動内容として、図書室の本を整理したり、休み時間には本の貸し出しや返却の手続きを行ったり、学級文庫の点検をして破れている本を集めたりしています。

また、新しく本が入荷された際には、紹介文を書きました。低学年から高学年まで楽しんで読んでもらえるよう、絵本から文庫本、図鑑など色々な種類の本を紹介しました。

今後も、本にあまり興味なかった子が読んでみたいと思えたり、本が好きな子をもっと好きに思えたりできるように活動していきます。

(図書委員会担当 田之上 温子)

音楽委員会



音楽委員会では、校内に音楽があふれる学校にするため、様々な活動を行っています。今年度も全校全体での音楽朝会を行う代わりに、お昼の放送時に今月の歌を流したり、第一・第二音楽室前に今月の歌の歌詞を掲示し、歌う時のポイントについて全校に伝えたりしています。

また、今月の歌の演奏動画を作り、音楽の授業時に全校が動画に合わせて演奏できるように取り組みも行う予定です。

港南小学校に音楽があふれ、全校児童が様々な音楽に触れることができるよう、今後も音楽委員会での活動を工夫していきたいと思っています。

(音楽委員会担当 柿島 沙織)

理科部より



理科の授業では、準備や片付けに多くの時間が必要になります。港南小学校では、サイエンスアシスタントが週三日程度、理科の授業準備や物品管理の手伝いをしてくださっています。事前に実験内容をお伝えすると、必要な物を揃えたり、片付けを手伝ったりしてくださいます。

また、高学年になると子供たちが実験方法を自ら考えます。その実験が可能かどうかの助言もしてください。どの区にもいらっしゃる方ではないので、教員も子供たちも、この恵まれた環境に感謝し、充実した学習活動を行っていききたいと思っています。

(理科担当 坂口 千尋)

飼育委員会



飼育委員会では、主に学校で飼育しているウサギの「大福」のお世話をしています。五年生と六年生の児童が曜日ごとに担当を決めて、協力し合いながら仕事をしています。

中休みや昼休みには、「大福」のトイレをきれいにしたり、えさをやったりします。年度初めは慣れない作業に戸惑う様子が見られましたが、今では手際よく仕事を進めています。

また、「大福」の姿を全校児童に伝えたいという想いから、「大福」を紹介するポスター作りを行い、校内に掲示しました。

今後も生き物を慈しむ心と態度を大切にしながら、飼育委員会としての活動を行っていきます。

(飼育委員会担当 萩原 和哉)